

地震・津波を想定した境港市場の避難訓練の実施について

災害復旧ワーキンググループ

令和6年3月8日（金）に境港水産物地方卸売市場において、鳥取沖の断層地震・津波の発生を想定した避難訓練を実施しましたので報告します。

1 実施概要

- (1) 日時 令和6年3月8日（金）午前11時から正午
- (2) 参加者 市場関係者49名（内訳：仲買業者24、荷受業者18、生産者2、その他5）

被害想定

- 発生日：令和6年3月8日（金）11時0分
- 地震：鳥取沖西部+東部断層（F55断層）で震度6強の地震発生、3分後に境港に津波警報が発表
- 津波：最大津波高：2.4m
津波到達予想時間：境港市への海面変動30cm到達時間は地震発生後21分、最大津波到達時間43分
- 避難：津波到達までに市内中心部への移動が困難な状況のため垂直方向へ避難
- 市場の被害：津波により全ての岸壁及び1号・2号・陸送上屋の1階部分が浸水し、漁船及び荷揚機材の流出、漂流、沈没。漂流物による境水道部の閉塞が生じ、船舶航行障害と水揚能力が低下。
- 漁船・漁具：休憩岸壁係留中漁船の多くが破損、浸水あり。小型漁船、定置網が流出。
- 通信状況：一般電話はつながりにくい状況、データ通信は通常どおり使用可能

2 避難訓練内容及び結果

(1) 地震発生時の行動訓練

身の安全確保：午前11時に「訓練 訓練 大地震発生 直ちに身の安全を確保してください」の館内放送を聞いた後、避難者は姿勢を低くし、落下物などから頭を保護する安全確保訓練を実施した。

(2) 津波避難訓練

場内放送「訓練 訓練 津波警報発令 全員2階に避難せよ」の館内放送を聞いた後、避難者は市場職員の誘導により2号上屋2階の境港おさかなパーク学習室へ全員避難した。

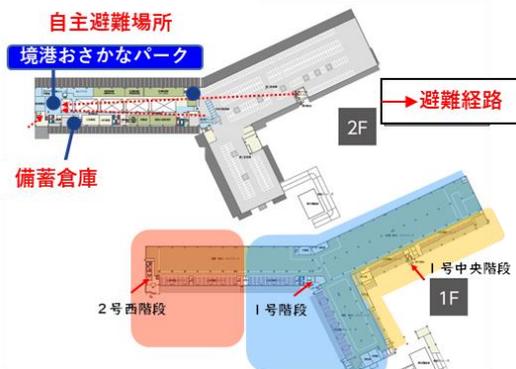
(3) 自主避難所開設訓練

市場周辺の安全確認が済むまで待機できるよう、協力して備蓄用品※をおさかなパークへ搬入して自主避難所を開設した。

※ポータブル電源2台、小型発電機1台、投光器2台、カセットコンロ2台、カセットボンベ24本、500ml飲料水240本、乾パン240缶、アルミブランケットシート200枚、圧縮毛布10枚購入した。この他、市場内に災害ベンダーが3台あり。

(4) 生じた課題や今後の対応策

避難誘導時の伝達手段として今回は携帯電話（LINE 電話）を使用した。基地局の被災で使えないおそれがあることと、外からの通話により連絡・伝達の障害がおこるためトランシーバー等の配備を検討する。



<参考>「市場の耐震機能」：災害に強い漁港・市場の整備・M6.5の直下型地震動が発生しても岸壁の損傷や液状化等の被害が限定的で速やかに漁業活動が再開できるように、岸壁に16mの鋼管矢板を打ち込み、市場躯体を支えるため地下22mまで地盤を改良。上屋の杭を地下66mまで打ち込み。

- ・最大津波高より高い屋上（地上7.2m）に250台分の駐車スペースと受電設備を整備。
- ・屋上駐車場及び2階を市の指定緊急避難場所として令和6年2月16日に指定。